

【軽井沢町の概要】

問1) 現在、軽井沢町の人口は、およそ()人である。

- ① 12000 ② 15000 ③ 19000 ④ 21000

問2) 軽井沢町の標高は、およそ()である。

- ① 700m ② 1000m ③ 1500m ④ 1700m

問3) 軽井沢町には六つの市や町が隣接している。六つとは、御代田町、佐久市、嬭恋村、高崎市、安中市、()である。

- ① 小諸市 ② 東吾妻町 ③ 草津町 ④ 長野原町

問4) 軽井沢町には多くの別荘(寮舎)があるが、現在、およそ()軒である。

- ① 9500 ② 11000 ③ 14000 ④ 17000

【浅間山の自然】

問5) 浅間山は()である。

- ① 休眠火山 ② 死火山 ③ 活火山 ④ 間欠火山

問6) 火山は噴出物とその形態によって、いくつかのタイプに分かれている。浅間山は()である。

- ① アスピーテ(楯状火山) ② トロイデ(鐘状火山) ③ コニーデ(成層火山) ④ ベジオニーテ(熔岩台地)

問7) 天明3年(1783)の浅間山の大噴火にあたって、もっとも大量に噴出した火山物質は()である。

- ① 火砕流 ② 熔岩流 ③ 火山灰土 ④ 軽石層

問8) 江戸時代、地域の人は浅間山のことを()と呼んでいた。

- ① 浅間山 ② 浅間嶽 ③ 浅間さん ④ 浅間岳

問9) 「鬼押し出し」の熔岩は()である。

- ① 花崗岩 ② 安山岩 ③ 集塊岩 ④ 凝灰岩

問10) 春先、浅間山の中腹に魚の形をした「雪形」が見られる。その魚とは()である。

- ① コイ(鯉) ② タイ(鯛) ③ ブリ(鱈) ④ サケ(鮭)

問11) 軽井沢という地名は()の語源にもとづいている。

- ① 軽石層の堆積台地 ② シラス台地の浸食地形 ③ 東日本における火山地形の地名
④ 江戸時代につけられた地名

【軽井沢高原の風土】

問12) 「高原」という用語を、最初に用いた作家は()である。

- ① 川端康成 ② 国木田独歩 ③ 徳富蘆花 ④ 島崎藤村

問13) 軽井沢高原(Karuizawa Plateau)と呼ばれるようになったのは()からである。

- ① 明治中期 ② 明治末期 ③ 大正時代 ④ 昭和初期

問14) 軽井沢へ、最初に避暑に来た外国人は()である。

- ① D・ノーマン ② A・C・ショー ③ H・フレイザー ④ J・G・ウォーラー

問15) 軽井沢の風土を「屋根のない病院」(Hospital without roof)と呼んだ外国人避暑客は()である。

- ① D・ノーマン ② A・C・ショー ③ N・G・マンロー ④ J・G・ウォーラー

問16) 大正10年(1921)に北原白秋は、明治初期に雨宮敬次郎が植えたカラマツを見て「落葉松の詩(うた)」をつくった。その詩碑は()にある。

- ① 旧碓氷峠 ② 旧軽井沢 ③ 信濃追分 ④ 星野温泉

問17) 明治39年(1906)に営業を始めた純西洋式ホテルは()である。

- ① 万平ホテル ② 三笠ホテル ③ グリーンホテル ④ プリンズホテル

問18) ショーハウスは軽井沢における別荘第1号である。昭和61年(1986)の「保健休養地軽井沢百年」記念事業として、ショー記念礼拝堂に隣接して復元されたショーハウスのある場所は()である。

- ① 旧軽井沢 ② 中軽井沢 ③ 南軽井沢 ④ 追分

問19) 三笠ホテルの名称の由来は、()といわれている。

- ① 地区名からつけた ② 船の名前からつけた ③ 神話から引用してつけた ④ ホテル前方の愛宕山が奈良の三笠山に似ているからつけた

問20) 川端康成が書いた『高原』は、旧軽井沢の旧前田邸と旧細川邸を舞台にした、昭和14年(1939)に発表した短編小説である。川端は細川邸の並木道の樹木について、榦と書いて称賛しているが、実際は()である。

- ① 樅(モミ) ② 桂(カツラ) ③ 落葉松(カラマツ) ④ 辛夷(コブシ)

問21) 軽井沢には高原の風土に適したスポーツ施設が多い。その中で最も規模の大きなスポーツ施設は()である。

- ① テニスコート ② スキー場 ③ ゴルフ場 ④ 馬場

【古代から栄えた軽井沢】

問22) ()の頂上部付近で、祭祀用の石製模造品や幣が発見され、神坂峠(下伊那)と並ぶ古くからの峠であることが確かめられた。

- ①碓氷峠 ②和田峠 ③和美峠 ④入山峠

問23) 『延喜式』にみられる東山道の駅は小県郡から上州にかけて、浦野—亘理—清水—()—坂本と書かれている。

- ①碓氷 ②長倉 ③沓掛 ④軽井沢

問24) 熊野神社に奉納されている銅鐘には、正応5年(1292)に()の12人が施入したと銘文に刻まれている。

- ①坂本 ②高崎 ③追分 ④松井田

問25) 天保年間の軽井沢宿には、本陣1軒、()4軒、旅籠21軒があって、峠の麓の宿場としてにぎわった。

- ①茶屋 ②問屋 ③脇本陣 ④木賃宿

問26) 追分宿は中山道と北国街道が分岐する位置にあったことから、人や荷物が集まり()が置かれ、重要な宿場であった。

- ①問屋 ②飯盛女 ③番所 ④荷物買目改所

問27) 碓氷峠の頂上には熊野神社が祀られ、古くから信仰を集めていた。鳥居をくぐると原初的な一對の狛犬があり、石段を登ったところに()が奉納されている。

- ①石の風車 ②石の燈籠 ③梵鐘 ④絵馬

問28) 文久元年(1861)皇女和宮は中山道を江戸に向かった。和宮は11月8日に八幡宿を立ち、小田井宿でご昼食をとり、()にお泊りになった。

- ①追分宿 ②沓掛宿 ③軽井沢宿 ④熊野神社

【軽井沢へのアプローチ】

問29) 明治16年(1883)に起工された碓氷新国道は、中山道の離山の南から一直線に東に進み、()の北麓(965m)を超えて群馬県に入った。

- ①熊野皇大神社 ②矢ヶ崎山 ③入山峠 ④和美峠

問30) 碓氷新道の開通によって、峠越えの荷物は馬車などによって運ばれるようになり、物資の流通が盛んになった。しかし、碓氷新道は旧中山道より()ほど長くなった。

- ①1km ②3km ③5km ④10km

問31) 明治18年(1885)西北馬車会社は、横川発の一番列車に合わせて、午前4時に()から馬車を出発させた。

- ①追分 ②沓掛 ③軽井沢 ④新軽井沢

問32) 明治21年(1888)軽井沢—横川間の碓氷新道に馬車鉄道が走った。運転時間は2時間30分であったが、途中で()を取りかえて運行した。

- ①車両 ②馬 ③ブレーキ ④車輪

問33) 明治21年輕井沢停車場が開業すると、停車場の近くには()・運送業者・商店などが軒をつらね新しい集落ができ、人びとは新軽井沢と呼ぶようになった。

- ①別荘 ②教会 ③テニスコート ④旅館

問34) 碓氷アプト式鉄道は、ドイツのハルツ山鉄道をみた井上清らの報告に本間英一郎が着目し、1000分の66.7勾配の()を敷設して建設した。

- ①ループ線 ②スイッチバック ③ラックレール ④トンネル

問35) 碓氷線の全線は11.2kmであったが、ずい道は26か所、橋梁は18か所に建設された。橋梁の中でも最も長い第3橋梁は長さ90.8mで、河床からの高さは31m余となり、()をアーチ式に積み上げていく危険な仕事で多くの犠牲者が出た。

- ①石 ②煉瓦 ③木材 ④鉄

問36) 軽井沢—横川間の電化工事が始まり、信越本線が一新される時期に軽井沢駅が改築された。新しい駅舎は2階建てとなり、ほかの駅に見られない()が設けられた。

- ①レストラン ②観光展望室 ③みやげ店 ④貴賓室

問37) 大正15年(1926)に、軽井沢—草津温泉に草津電気鉄道が開通した。草津電鉄によって、別荘地は北軽井沢にのび()も運転されて人気をよんだ。

- ①納涼列車 ②トロッコ列車 ③食堂車 ④急行列車

【軽井沢の建築・別荘建築】

問38) 避暑地軽井沢の別荘第1号を建てた人は()である。

- ①A・C・ショー ②D・ノーマン ③W・M・ヴォーリス ④J・G・ウォーラー

問39) 軽井沢で最初にショー別荘ができた年は()である。

- ①明治19年(1886) ②明治21年(1888) ③明治23年(1890) ④明治30年(1897)

問40) 軽井沢で日本人最初の別荘を建てたのは()である。

- ①八田裕二郎 ②雨宮敬次郎 ③佐藤万平 ④山本直良

問 41) 旧徳川^{くにとが}順別荘は、「あめりか屋」建築で軽井沢を代表する建物となっている。元総理大臣（ ）の別荘であったことでも知られている。

- ①宮沢喜一 ②桂太郎 ③中曾根康弘 ④田中角栄

問 42) W・M・ヴォーリスは軽井沢で 63～64 棟の建物を設計した。（ ）はその一つである。

- ①三笠ホテル ②万平ホテル ③軽井沢教会 ④細川^{ほろかわ}護立別荘

問 43) （ ）はオーデトリウム（大型会堂）と呼ばれ、礼拝や宣教師集会だけでなく音楽会なども開催され、交流の場として親しまれた。

- ①軽井沢会集會堂 ②軽井沢教会 ③旧スイス公使館（深山^{みやま}荘） ④ユニオン・チャーチ

問 44) 聖パウロ・カトリック軽井沢教会の建物は（ ）である。

- ①ヴォーリス建築 ②レーモンド建築 ③あめりか屋建築 ④吉村順三建築

問 45) 旧三笠ホテルは日本人による設計・施工である。その大工^{たくりゆう}棟梁である（ ）は、軽井沢でたくさんの建築を手掛けた。

- ①久米^{くみ}権九郎 ②吉村順三 ③野沢源次郎 ④小林^{こばやし}代造

問 46) 軽井沢でもっとも古い教会は（ ）である。

- ①ユニオン・チャーチ ②ショー記念礼拝堂 ③聖パウロ・カトリック教会 ④軽井沢教会

問 47) 軽井沢で最初の大学夏期寮「三泉寮^{さんせんりやう}」は、（ ）の寮である。

- ①早稲田大学 ②日本大学 ③日本女子大学 ④東京女子大学

問 48) 追分宿の脇本陣（ ）は、当時中山道^{くわんしゅう}屈指^{けいしゆ}の威容を見せていた。大正から昭和にかけては、堀辰雄^{ほりたつお}や立原道造^{たちばなみさぞう}など多くの文人が滞在した。

- ①甲州屋 ②港屋 ③油屋 ④加賀屋

【軽井沢の景勝地】

問 49) 旧軽井沢の愛宕山^{あたご}の山頂付近には、（ ）と呼ばれる玄武岩^{らんぼう}の柱状節理が見られる。

- ①ピアノロック ②オルガンロック ③モアイ ④段々岩

問 50) 碓氷峠の見晴台は、夕日が美しいので、外国人たちに（ ）と呼ばれている。

- ①サンライズポイント ②ビューポイント ③サンセットポイント ④夕陽ヶ丘

問 51) 修験者が中で座禅を組んだと言われている座禅窟^{ざぜんくつ}は、（ ）の南面にある。

- ①石尊山^{いそんざん} ②離山 ③小浅間山 ④血の滝

問 52) 濁川^{にごり}の赤滝は、その色から別名（ ）と呼ばれている。

- ①濁り滝 ②石尊の滝 ③錆び色滝 ④血の滝

問 53) 晴天の日、御影用水の水^{みかげ}温は灌漑用温水路を流れる間におよそ（ ）上昇する。

- ①1.5℃ ②3.5℃ ③5.5℃ ④7.5℃

問 54) 千ヶ滝までの約 1.4kmの遊歩道は、「千ヶ滝（ ）の道」と名づけられている。

- ①ふれあい ②せせらぎ ③やすらぎ ④自然

問 55) 昭和 30 年代から 40 年代前半につくられた塩沢湖の（ ）は、ウインタースポーツの中心的施設としてにぎわった。

- ①カーリング場 ②ジャグジー ③スケートリンク ④パイピングリンク

問 56) 「国設軽井沢野鳥の森」の入り口には、日本野鳥の会創設者（ ）の胸像がある。

- ①A・C・ショー ②北原^{きたはら}白秋 ③近藤^{ちんどう}友右衛門 ④中西^{なかにし}悟堂

問 57) 春の芽吹きと秋の紅葉が美しい三笠通りには（ ）並木がある。

- ①カラマツ ②イチョウ ③モミ ④サクラ

問 58) 地元で御水端^{おみずはた}とも呼ばれている雲場池は、かつては白鳥も飛来したことがあり、（ ）という愛称をもっている。

- ①グースレイク ②白鳥湖 ③スワンレイク ④水鳥の池

【軽井沢の生物】

問 59) 春先に白い花を咲かせ、軽井沢町の木に指定されている樹木は（ ）である。

- ①モミ ②サクラ ③ミズキ ④コブシ

問 60) 軽井沢町の一部には、ドングリをつける木々が広がり、鳥や哺乳類などに貴重な食料を提供している。ドングリをつけるのは（ ）である。

- ①カラマツ ②ハルニレ ③ミズナラ ④シラカバ

問 61) 草原の環境を好み、軽井沢町の花に指定されている植物は（ ）である。

- ①サクラソウ ②ルリソウ ③アサマキスゲ ④マツムシソウ

問 62) 早春（4月頃）に花を咲かせ、1～2か月以内に種をつけ、すべてを終わらせてしまうスプリングエフェメラルと呼ばれる植物は（ ）である。

- ①タンポポ ②スマレ ③オオバギボウシ ④アズマイチゲ

問 63) 5月頃、キョロンキョロンチーとさえずり、軽井沢町の鳥に指定されている野鳥は () である。

- ①アカハラ ②シジュウカラ ③オオルリ ④カッコウ

問 64) 体全体にイチゴにミルクをかけたような色合いで、冬にシベリアから渡ってくる鳥は () である。

- ①コルリ ②ベニマシコ ③エナガ ④アトリ

問 65) 軽井沢町内で1年を通して観察できる鳥は () である。

- ①キビタキ ②アオジ ③アカゲラ ④オオジシギ

問 66) 軽井沢の獣に指定されているのは () である。

- ①ニホンカモシカ ②ニホンリス ③ムササビ ④ヤマネ

問 67) 豊かな森にすむツキノワグマは、軽井沢町にも生息している。森を歩くときに、クマと出会わないために携帯するとよいのは () である。

- ①携帯電話 ②パチンコ ③傘 ④鈴

【軽井沢の特産品】

問 68) 軽井沢彫には、およそ () の歴史がある。

- ①30年 ②50年 ③100年 ④150年

問 69) 万平ホテルに宿泊し、パンにまつわる逸話を残した著名人は () である。

- ①フランク・シナトラ ②ポール・マッカートニー ③ジョン・レノン ④エルビス・プレスリー

問 70) 軽井沢の特産品であるジャムは、() から製法を教わった。

- ①観光客 ②食品の専門家 ③宣教師 ④避暑に来た政治家

【高原野菜の発祥地】

問 71) 明治20年代に外国人宣教師が求めた故郷の味といわれる野菜は () である。

- ①白菜 ②キャベツ ③レタス ④トマト

問 72) 保温折衷苗代を考案して、高冷地の稲作から冷害を減らした功績で () は軽井沢町の名誉町民に選ばれた。

- ①佐藤万平 ②水沢邦暲 ③荻原豊次 ④佐藤正人

【軽井沢の温泉】

問 73) 昭和37年廃業となった草津と軽井沢を結ぶ高原鉄道である草津軽便鉄道の駅名があった温泉は () である。

- ①星野温泉 ②千ヶ滝温泉 ③小瀬温泉 ④塩壺温泉

【軽井沢のスポーツ施設・オリンピック】

問 74) 軽井沢風越公園内にある多目的運動施設(アイスアリーナ)は、平成21年度に1年を通して () の利用目的のため改修工事が行われた。

- ①屋内テニス ②フットサル ③アイススケートリンク ④ゲートボール

問 75) 平成8年にオープンした「スカップ軽井沢」は、夏期は ()、冬期はカーリング場として利用されている。

- ①温水プール ②野外テニスコート ③屋内スケートリンク ④屋内ゲートボール

問 76) オリンピック東京大会が昭和39年(1964)に開催され、軽井沢では、() 一帯が総合馬術競技の場となった。

- ①浅間台・大日向 ②上発地・下発地 ③南軽井沢・地藏ヶ原 ④千ヶ滝

問 77) オリンピック東京大会の軽井沢での総合馬術競技で、競技内容でないものは、() である。

- ①障害飛越 ②馬場馬術 ③野外騎乗 ④速足走行

問 78) 第18回冬季オリンピック長野大会で、軽井沢が会場になったのは () 競技である。

- ①アイスホッケー ②スキージャンプ ③スピードスケート ④カーリング

問 79) 昭和30年代、皇太子殿下と妃殿下との縁から日本中に広がったスポーツは () である。

- ①乗馬 ②スケート ③ゴルフ ④テニス

【軽井沢の博物館・美術館・植物園・音楽ホール】

問 80) 旧三笠ホテルは、昭和55年(1980)5月に、国の () に指定され、昭和58年(1983)より内部の一般公開がおこなわれている。

- ①重要文化財 ②登録有形文化財 ③民俗文化財 ④記念物

問 81) 追分宿郷土館は、昭和60年(1985)に、() をテーマに浅間神社の北側に建設された。

- ①文学と別荘と文化 ②自然と動物と文化 ③街道と歴史と文化 ④音楽とスポーツと文化

問 82) 堀辰雄文学記念館は、軽井沢をこよなく愛した作家堀辰雄に関する資料を展示・保管する文学資料館として平成5年(1993)に()に開館した。

- ①借宿 ②旧軽井沢 ③中軽井沢 ④追分

問 83) 軽井沢植物園は、およそ()種類の樹木・草木が集められ、同じ科のものは一連の場所に比較検討できるよう植栽されている。

- ①500 ②1000 ③1600 ④2600

問 84) 大賀ホールは、平成17年に元ソニー株式会社名誉会長の大賀典雄から軽井沢町に寄贈された。ホールは大賀が提唱する理想的音響を具現化した()角形サラウンド型で、高いレベルの音響空間を実現した。

- ①三 ②五 ③六 ④八

【軽井沢の文学】

問 85) 追分の浅間神社境内に建つ芭蕉句碑は、芭蕉の紀行文()に出てくる句<ふきとばす 石も浅間の 野分けかな>が自然石に刻まれている。

- ①『木曾路記』 ②『奥の細道』 ③『更科紀行』 ④『野ざらし紀行』

問 86) インドの詩人タゴールは、大正5(1916)年8月、軽井沢に滞在し、()の修養会に講師として招かれ、学生らを前に「祈り」について講話をおこなった。

- ①早稲田大学 ②東京女子大学 ③学習院大学 ④日本女子大学

問 87) 有島武郎がみずからの三人の子供たちのために書いた童話は()である。

- ①『かっぱの話』 ②『こがね丸』 ③『ごんぎつね』 ④『一房の葡萄』

問 88) 北原白秋の「落葉松」の詩は、雑誌() (大正10年11月発行)に初めて発表された。

- ①「明星」 ②「四季」 ③「屋上庭園」 ④「赤い鳥」

問 89) 芥川龍之介は大正13年(1924)と翌年の夏を軽井沢で過ごしたが、その折、歌人でアイルランド文学翻訳家の()と出会い、<才力の上にも格闘できる女>として好意をいただいた。

- ①与謝野晶子 ②片山廣子 ③湯浅芳子 ④山川柳子

問 90) 昭和3年(1928)以来、昭和50年代後半までの長期間にわたり、夏を中心に、北軽井沢の山荘で悠々自適の執筆生活を続けた女性作家は()である。

- ①佐多稲子 ②円地文子 ③大原富枝 ④野上弥生子

問 91) 昭和12年(1937)冬、堀辰雄は『風立ちぬ』を旧軽井沢・桜の沢の()の別荘で完成させた。

- ①川端康成 ②横光利一 ③ライシャワー ④片岡鉄平

問 92) 詩人・建築家の立原道造が愛した詩型は()である。彼が生前に出した2冊の詩集は、すべてこの詩型で書かれている。

- ①頌歌 ②ロンドー ③カンツォーネ ④ソネット

問 93) 室生犀星が昭和35年(1960)、詩の選択、設計、建設費用など一切を自らでおこなってつくった文学碑には、『鶴』(昭和3年刊)に収められた詩()が黒曜石に彫られている。

- ①「切なき思いぞ知る」 ②「小景異情」 ③「寂しき春」 ④「犀川」

問 94) 遠藤周作は昭和40年(1965)、元病院であった六本辻の貸別荘で()の原稿を完成させた。

- ①『わたしが・棄てた・女』 ②『死海のほとり』 ③『海と毒薬』 ④『沈黙』

【文化活動・地域活動】

問 95) 軽井沢通俗夏季大学(現軽井沢夏期大学)は大正7年(1918)、()と後藤新平によって創設された。

- ①岸田國士 ②加藤與五郎 ③徳川慶久 ④新渡戸稲造

問 96) NPO法人ピッキオ、どんぐり運動の会、サクラソウ会議などの団体が活動している軽井沢では、()に関わる地域活動が活発である。

- ①自然保護 ②社会福祉 ③文学 ④伝統文化

【軽井沢のまちづくり】

問 97) 「国際()観光都市建設法」が昭和26年に法律として定められた。

- ①教育文化 ②親善文化 ③別荘文化 ④避暑文化

問 98) 軽井沢町自然保護対策要綱に定められた建物の高さは、市街地(近隣商業地区)は13mであり、その以外は原則として()である。

- ①8m ②10m ③13m ④15m

問 99) 昭和48年(1973)の町制施行五十周年に定めた、町民の基本理念は()である。

- ①町民憲章 ②まちなみメソッド宣言 ③まちづくり基本条例 ④美しい環境を維持する条例

問 100) バンクーバー冬季オリンピックのスキーのメイン会場は、軽井沢町の姉妹都市ウイスラーである。軽井沢町とウイスラー市は、()をきっかけとして、姉妹都市提携を結んだ。

- ①町制施行八十周年 ②保健休養地百年 ③長野新幹線開業 ④長野冬季オリンピック